

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

ストリートスマートの育成

～学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる～

子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐみます。

- 自ら学習力の向上に努め、自律的に学び続けていく力(知)
- 生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体)
- ともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・関)

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

- ①協働的に次代の社会をつくる力
- ②自己肯定感・自己有用感

(高田中ブロック共通)

- ①社会(地域)理解力・自己理解力
- ②コミュニケーション、人間関係形成、社会(地域)参画
- ③計画実行・問題解決力・自己調整

具体化した資質・能力

- ・チームで目標に向かって協力し合える能力
- ・多様性を尊重する態度
- ・困難に直面した時も前向きに臨もうとする態度
- ・自己肯定感・自己有用感
- 〈高田中ブロック共通〉
- ・問題を認識する能力
- ・情報を正しく判断・理解し効果的に活用できる能力
- ・目標を定義・設定する能力
- ・自分の考えを適切に他者に伝える力

中期取組目標

- 生徒一人ひとりの思いを大切にしながら、笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。
- 生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かって、自ら考え、判断・決定・行動する力や、目の困難に向き合っていくとすべくまじさの醸成を目指します。
- 生徒が異なる価値観や考え方を認め尊重し合い、データを活用しながら自分の言葉で自分の考えを伝えようとする態度の育成を目指します。
- 教職員が生きて学び続け、生徒の意見やアイデアを取り入れ、生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。
- 家庭・地域・民間企業・関係機関などとの連携・協働による「社会とつながる学び・社会に開かれた学校」づくりを目指します。

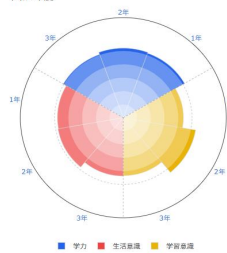
学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
学習指導	①朝学習や、ICTの活用により、自ら学力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を育む。②育成を目指す資質・能力を明確にし小中一貫教育推進ブロックの授業を実施する。③「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、「学力・学習状況調査」のデータ結果や生徒の授業アンケート結果を活用し、授業改善に生かす。
担当	学習研究部・各教科

学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力に関わる児童生徒の実態
学力に関しては全学年ともわずかに市平均を上回る結果となっている。学習意識については2年生の意識市平均を上回るが、1年3年の学習意識が平均を下回る結果となっている。

(図1)



○2. 3年の生活意識を例にみると、「校外生活」(家庭や地域社会での生活に関する問い)は市平均を上回っているが「自己意識」に関して市平均を大きく下回る状況である。1年はおおむね平均を示している。このような状況から学校行事や日常活動などを通して、一人ひとりを大切にしながら、生徒の自己肯定感をあげられるような取り組み増やし、自他の良さを認め合える環境作りをすすめていく必要がある。

(2) これまでの学校の取組状況
各教科で、「ICT活用」「外部資源の活用」という視点で教育活動の改善・充実を図り、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」の育成をめざした。

今年度の目標

基礎・基本となる知識・技能の定着と、「主体的に学習に取り組む態度」の育成

目標を実現するための具体的な行動プラン

上半期	☆「主体的に学習に取り組む態度」を育成する授業の研究・実践 ・各教科において「個別最適な学び」「ICT活用」による授業改善で「主体的に学習に取り組む態度」の育成をめざした計画・実践をします。 ☆教科横断による教育活動の計画立案・実践 ・班活動やグループでの学び合いができる授業展開の工夫を考えて計画、実践していきます。 ・各教科において、他の教科との関連性を意識した計画を作成します。 ☆ICTを活用した、基礎・基本の知識・技能の定着 ・各教科等の年間計画において、ICTを活用することで、生徒の学びが充実する場面を検討し、実践します。
下半期	☆「主体的に学習に取り組む態度」を育成する授業の研究・実践 ・各教科において「個別最適な学び」「ICT活用」による授業改善で「主体的に学習に取り組む態度」の育成をめざした実践をします。 ・企業など多様な主体と連携した学習を通じて、課題設定・課題解決の場面を設定することで、生徒が学習と実社会とのつながりを意識させていきます。 ☆教科横断による教育活動の計画立案・実践 ・各教科において作成した年間計画に基づいて、他教科の学習内容と連動した学習活動を実施します。 ☆ICTを活用した、基礎・基本の知識・技能の定着 ・各教科等の年間計画において、ICTを活用することで、生徒の学びが充実する場面を検討し、実践します。 ・デジタル教材を利用することで、「個別最適な学び」を推進し、基礎・基本の知識・技能の定着を図るとともに、生徒が自ら計画的に学習を進める態度の育成を図ります。